

・ICT研修への教員受講割合が8割を超える市区町村が4割程度。一方、全くICT研修を受講していない、もしくは教員の2割程度しか受講していない市区町村が3割弱。

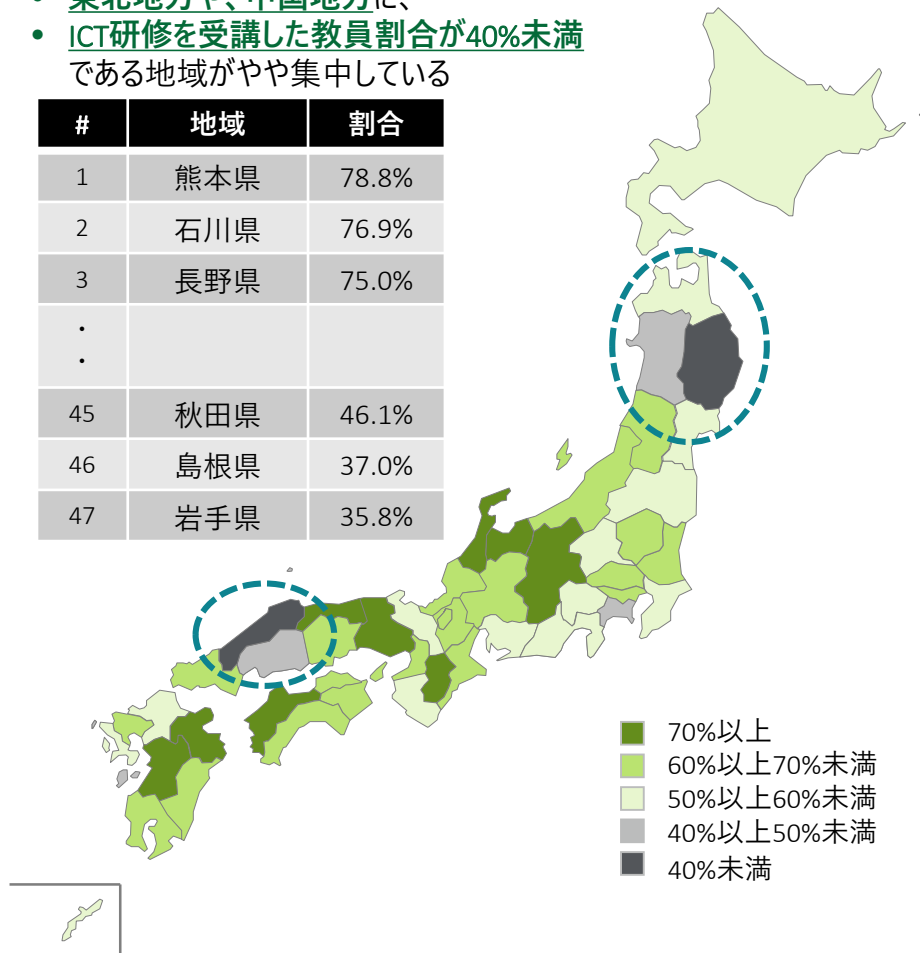
ICT研修の受講割合が少ない地域は、東北地方や中国地方の一部地域に集中。

令和2年度におけるICT研修を受講した教員割合

小学校

- ・東北地方や、中国地方に、
- ・ICT研修を受講した教員割合が40%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	熊本県	78.8%
2	石川県	76.9%
3	長野県	75.0%
・		
45	秋田県	46.1%
46	島根県	37.0%
47	岩手県	35.8%

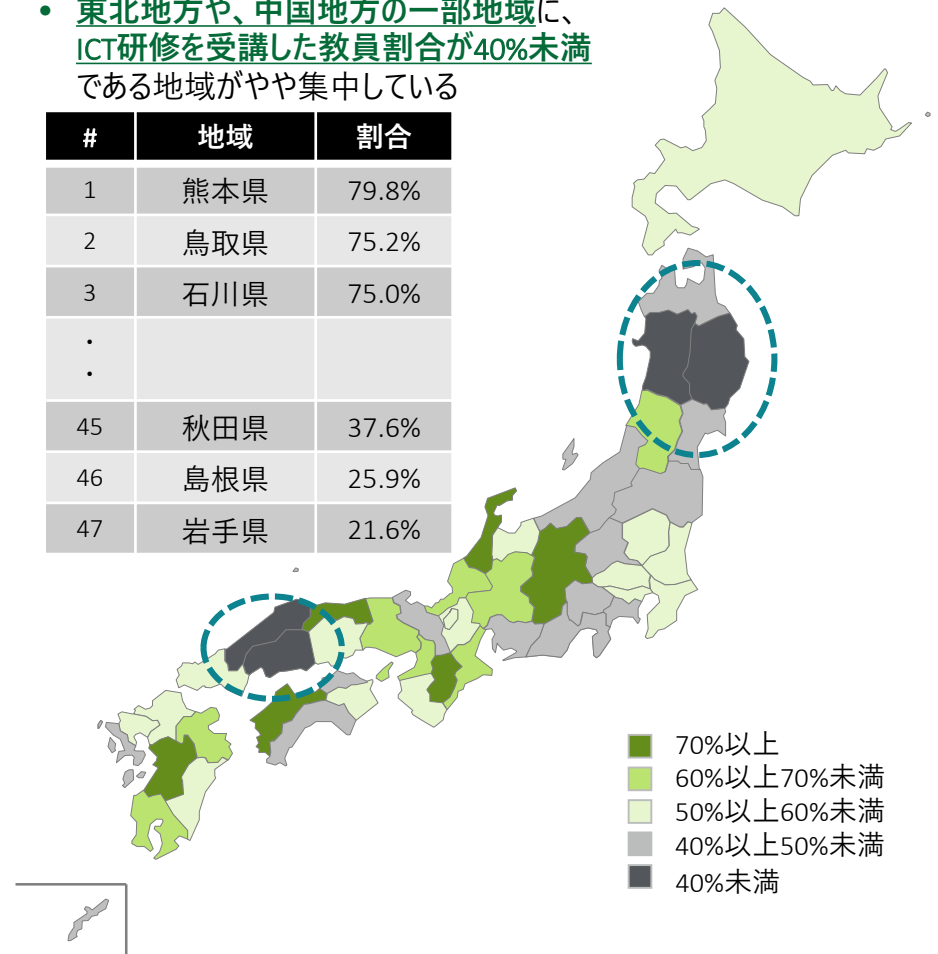


■ 70%以上  
■ 60%以上70%未満  
■ 50%以上60%未満  
■ 40%以上50%未満  
■ 40%未満

中学校

- ・東北地方や、中国地方の一部地域に、
- ・ICT研修を受講した教員割合が40%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	熊本県	79.8%
2	鳥取県	75.2%
3	石川県	75.0%
・		
45	秋田県	37.6%
46	島根県	25.9%
47	岩手県	21.6%



■ 70%以上  
■ 60%以上70%未満  
■ 50%以上60%未満  
■ 40%以上50%未満  
■ 40%未満

\*当該自治体における、ICT研修を受講した教員数を全教員数（授業担当外教員を含む）で除した値

# 新時代の学びを実現する学校施設の計画的・効率的な整備

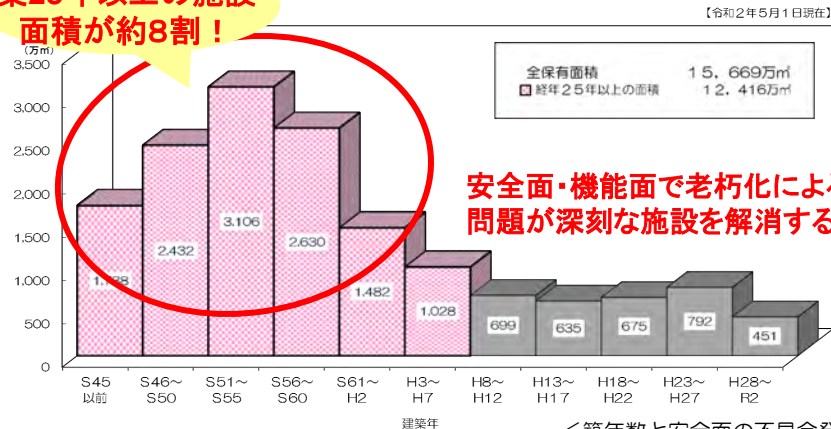
- GIGAスクール構想によるICT活用と少人数学級を両輪とした新時代の学びを実現するための施設環境の整備が必要。
- 昭和40年代後半から50年代に集中的に建設された施設を中心に、安全面・機能面において老朽化による問題が深刻化。
- 学校施設は、災害時には避難所にもなる重要な地域コミュニティの拠点。

1人1台端末のもと、児童生徒一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現できる施設環境を確保していくため、地域の将来像を見据えつつ、膨大な数の既存学校施設について、安全・安心を確保する老朽化対策と、新しい時代の学びを実現する教育環境の向上を併せて計画的に整備することが必要不可欠。

## <学校施設の老朽化対策>

公立小中学校の建築年別保有面積<全国>

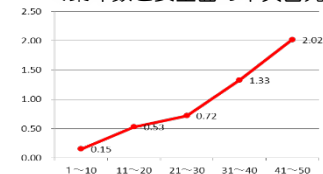
築25年以上の施設  
面積が約8割！



安全面・機能面で老朽化による  
問題が深刻な施設を解消する必要



<築年数と安全面の不具合発生率>



## <新時代の学びを実現する質的整備>



1人1台端末を文房具として活用し  
多様な学びを展開できる空間



ICT活用による協働的な学びを展開  
できる空間



ICT活用により学校施設全体を学びの場として利用

「改築」から「老朽化対策と教育環境の向上を一体的に行う長寿命化改修」にシフトするとともに、施設の複合化・共用化を促進

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境を実現しつつ、コストの最適化を実現